

情報公開文書

研究の名称	本邦における単孔式胸腔鏡下解剖学的肺切除の周術期成績に関する実態調査：多施設共同後方視的研究
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院 又は 国立大学法人富山大学
研究責任者 (所属・氏名)	土谷智史（呼吸器外科）
研究の概要	<p>【研究対象者】 2018年4月1日から2023年3月31日の間に、単孔式胸腔鏡下解剖学的肺切除が施行された症例</p> <p>【研究の目的・意義】 解剖学的肺切除に対する単孔式胸腔鏡アプローチは、その低侵襲性から、本邦においても徐々に各施設で導入されています。 しかしながら、本邦におけるこれらの患者背景並びに周術期成績の実態は不明確である。単孔式胸腔鏡手術研究会では以上のような状況を鑑み、ガイドラインや臨床研究のコントロールに役立つデータベースを構築する必要性を認識しており、幹事会員を中心に単孔式胸腔鏡下解剖学的肺切除の実態調査を行うことが望ましいと考え、今回の研究を立案いたしました。 本研究の意義は、治療方略決定の助けになることです。</p> <p>【研究の方法】 単孔式胸腔鏡下解剖学的肺切除症例を対象とし、その患者背景、周術期成績の実態を調査し、手術関連合併症に影響を与えた因子を明らかにします</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2025年7月31日まで</p> <p>【研究結果の公表の方法】 呼吸器疾患関連学会及び学術誌で報告予定</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	診療記録における情報を使用する。被験者登録は、電子症例報告書（eCRF）を用いて行う。eCRFには解析に用いる情報のみを入力し、個人を識別できる情報は入力しない。被験者に対する身体的なリスクはない。本研究では、前橋赤十字病院 呼吸器外科 井貝 仁がデータマネジメントを行う。電子症例報告書（eCRF）及びマネジメントツールとして電子メールを用いデータ収集を行うが、臨床検査データについては中央測定機関のデータを主とする。個人情報に関するリスクについては、匿名化の実施及び資料保管場所の施錠やデータに対するパスワードをかけるなど、安全管理対策を対応する。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	前橋赤十字病院 呼吸器外科 井貝 仁
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	前橋赤十字病院 呼吸器外科 井貝 仁
研究対象者、親族等関係者からの相談等への	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。

対応窓口

電話番号 076-434-7371

E-mail: thrccsrg@med.u-toyama.ac.jp

担当者所属・氏名 富山大学 呼吸器外科 土谷智史